

## 歴博 くらしの植物苑だより

第111回くらしの植物苑観察会 6月28日(土)

### 梅雨の植物

中川 重年(本館研究部客員教授)

一年のうちもっとも葉が茂るのは6月、春先の新緑の葉もすっかり黒ずみしっかりとした葉になっています。

梅雨の合間に咲く花もすこしですがあります。クマノミズキの白い花、ムラサキシキブの赤紫、地味ですが風情のある樹木です。先月咲いていたトチノキ、ミズキはすでに青い実になっております。枝先を丁寧に見ると小さなドングリが、、。コナラやシラカシは今年の秋に熟します。マテバシイ、アラカシは小さな実のまま2年かかって成熟します。木の根本にも実生のドングリやさまざまな樹木が見られます。この実生は1年でたいていは消えてしまいます。静かな植物の世界でも烈しい生き残りの世界が見られます。

---

#### 次回予告

第112回くらしの植物苑観察会 2008年7月26日(土)

「植物で染める」 加藤 國男(愛知産業大学)

13:30~15:30(予定) 苑内休憩所集合 申込不要 要入苑料

